

# 聞こえのチェックリスト

高齢による聴力の低下は、自分では気づきにくいとされています。会話など生活の質を維持するためには、聴力を保つことが重要です。難聴は、認知症の危険因子の一つとされておりますが、早めに発見することで聞こえを改善することができます。

まずは、自分の聞こえの状態をチェックしてみましょう

- 会話をしている時に聞き返す
- 後ろから呼びかけられると、気づかないことがある
- 聞き間違いが多い
- 話し声が大きいと言われる
- 見えない所からの車の接近に気がつかない
- 電子レンジなどの電子音が聞こえない
- 耳鳴りがある

(一般社団法人日本補聴器販売店協会ホームページから引用)

チェックの数はいくつありましたか？

● 1～2個

実生活でお困りのことがあれば、耳鼻咽喉科を受診しましょう。

● 3～4個

耳鼻咽喉科で相談してみましょう。

● 5個以上

早めに耳鼻咽喉科を受診することをおすすめします。

裏面に医療機関の一覧や制度の記載がありますのでご覧ください。

# 医療機関への受診を検討しませんか

## ● 帯広市内の耳鼻咽喉科一覧（受診などに関しては医療機関に直接問い合わせください）

医療機関名	住所	電話
いしかわ耳鼻咽喉科クリニック	西5条南24丁目18番地	24-1717
帯広協会病院	東5条南9丁目2番地	22-6600
帯広厚生病院	西14条南10丁目1番地	65-0101
帯広耳鼻咽喉科	西1条南12丁目10番地	22-1928
帯広中央病院	西7条南8丁目1番地3	24-2200
自由が丘みくに耳鼻咽喉科	自由が丘1丁目1番地11	38-3387
たけざわ耳鼻咽喉科	西19条南3丁目35番4号	41-2001
はんがい耳鼻咽喉科クリニック	西16条南1丁目18番地2	41-0300
北斗クリニック	稲田町基線7番地5	48-8000

## ● 身体障害者手帳の交付

受診の結果、聴力が一定の基準に該当する場合は、聴覚の障害者手帳の交付を受け、さまざまな支援や助成を受けることができます。  
該当になるか、医師にご相談ください。  
手続きに必要なものは、事前にお問い合わせください。

## ● 補聴器（補装具費）の支給

聴覚の障害者手帳の交付を受けると、補聴器購入費用の給付を受けることができます。（一部自己負担額があります。）  
手続きに必要なものは、事前にお問い合わせください。

### 問合せ先

- 身体障害者手帳・補聴器の支給に関すること

帯広市障害福祉課相談支援係 電話 0155-65-4147

- このチラシに関すること

帯広市介護高齢福祉課高齢者福祉係 電話 0155-65-4145

制度に関する詳細は、市のホームページにも掲載しています。

